



八女市稲富
森田 秀子

あさ早く電話が鳴って驚き、それは遠く離れた友からだった。彼女は、長年教職に携わっていたが不幸が重なり体調を崩していたので、近況を知りたく便りを届けていた。それが元気の源になったと大きな声で語ってくれた。私も絵手紙を続けてよかったなあと考えた。本当の気持ち、思いやり色々な事が詰って届けてくれる絵手紙……友からの一言に心打たれて嬉しかった。これから先生の御指導と、皆さんの明るい雰囲気の中で、楽しく精進して行こうと思います。

野鳥ウォッチング ㊤

セグロセキレイ



水辺のひらけた場所を好み、川の中流域によく見られます。長い尾を上下させ、足早に歩きながら昆虫を探します。

矢部村 栗原 浩暢

2月の道の駅たちばな

道の駅たちばな

わくわく誕生祭イベント

期日／平成31年2月10日(日)
11日(月)

時間／10:00～15:00

出演者／

古賀ジュミィ・マン太郎・涼風歌萌・ラブリーバブ・歌手りゅうじ・ブレイクダンス・菊和会・マリンベンチャーズ・クレイジーボーイズ・梅谷心愛・フラメンコ・ルシア・ま〜がりん・ガッチャン・キャサリン・藤崎伊織・山ちゃん・たけはるお

道の駅 たちばな

立花町下辺春国道3号線沿 TEL 0943-37-1711



健康よもやま話 ㊤



姫野病院：松浦 緑郎
(健康管理士一般指導員)

●不整脈

心臓の働きは、いうまでもなく全身に血液を送り出すことです。これを拍出といい、その血液を送り出すときの力が血圧です。もし、血圧が130mmHgの人がいれば、その人の心臓は毎回、細い水銀の柱を130mmほど持ち上げる力で全身に血液を送り出していることになります。そして、健康な人の心臓は、この作業を毎分70回前後繰り返しています。

つまり、1時間では約4千回、1日で約10万回、1年では約4千万回、仮に70歳まで生きたと仮定すると、その人の心臓は生涯で約25億回以上も全身に血液を送り続けたことになります。私たちの胸の中にある小さな拳大の心臓が、いっときも休まず、これだけの働きをしているのです。

この脈は誰でも簡単に測れますが、成人では一応、1分間50～100回以内（こうした働きは心臓に洞結節と呼ばれるペースメーカーがあり、ここがまず初めに電氣的興奮を起こし、その刺激が心臓の収縮を誘発していることによる）であれば正常とみなされます。

この数とは別に、ときどき正常のリズム以外の脈が現れることがあり、それらを総称して「不整脈」といいます。この不整脈の原因はさまざまですが、正常の人でも1日を通して心電図を測ってみると、50～100回程度の異常な脈が発見されるものです。

要するに、心臓のペースメーカーは一生懸命働いてはいますが、ときに軽く乱れたり、怠けることもあるのです。従って、たまたま不整脈が発見されたからといって慌てることもなく、治療の必要のないものも沢山あるのです。

一方、自分ではたいしたことはないと思っていても重大な病気が隠れていることもあります。勿論、不整脈とともに動悸や息切れ、めまいなどがあるときは問題です。いずれにしても、脈に不整が見られたら、どんな種類の不整脈なのか、また何が原因なのかを病院できちんと調べておくことが大切です。“心が躍る”といえ、素晴らしいことに出合って、ウキウキ・ワクワクすることですが、“心臓が躍った”と言うと、これはまったく別のことで、心臓のポンプの働きが弱っている可能性があります。専門医の診断を受けなければなりません。

暮らしに演出を♪システム園芸科草花専攻 八女農業高校

八女農業高校の草花専攻の授業と聞いてどのような内容を想像されるでしょうか？花壇作り、寄せ植えやフラワーアレンジメントなど、花苗や切り花を使った学習を想像されることと思います。実際はそれだけではありません。システム園芸科草花専攻では、花苗や切り花などを一から栽培するところから学習します。栽培した草花は、校内での活用だけでなく学校販売所「みらい館」や道の駅たちばなでの販売もしております。生徒が育てておりますので不揃いなものもありますが、それも愛嬌として、強く美しい姿を見せてくれます。生産物は、観葉植物、花苗（マリーゴールド、センニチコウ、パンジー、ハボタンなど）、鉢物（ゼラニウム、グロキシニア、シクラメンなど）、切り花（ストック、ランタンキュラスなど）といった色とりどりの草花を栽培しています。全て、生徒が授業の中で種まきから管理までを愛情込めて行っております。

こうした生産物などを利用して、正門から続く長さ約80mの花壇の装飾、玄関の鉢物による演出などを行っています。また、幼稚園児との交流、地域行事での装花等、地域への貢献にも励んでいます。暮らしに潤いをもたらす、豊かな生活を楽しむために、ぜひ草花を活用してください。



2月の校内販売所(八女農みらい館)の開館日 1日(金)、5日(火)、8日(金)、12日(火)、15日(金)、19日(火)、22日(金)、26日(火) 販売時間は、10時30分～12時30分です。多くの皆様のお越しを心からお待ちしています。

眩き 母ちゃんの テーマ曲

平成最後の年の瀬に映画「ボヘミアン・ラプソディ」を観た。イギリスのロックバンドヘヴィメタ、その音楽活動と青春をボーカリストのフレディ・マーキュリーに焦点を当てて描いている。私の青春時代だった一九七〇年代、空前のヒット曲を連発し、日本中が彼らの音楽に熱狂した。私も夢中だった。

「WE WILL ROCK YOU」という名曲がある。ライブで観客が加わり、手拍子と足を踏み鳴らしリズムをとる力強い曲想で、一体感を生む。クイーンは今まで三度のブームで蘇った。その二度目の復活が私の子育て中の四十代で、息子達の中学、高校時代と重なる。当然息子達もクイーンとこの曲を知っていて、当時元氣一杯の最強の母ちゃんが登場するテーマ曲だと喜んだ。三人で手拍子と足を踏み鳴らしながら、母ちゃんの私を囁し立てる、そんな幸せな時代だった。

二〇一〇年代、私の子育ては完了し息子達は巣立ちを終えた。それまで健康だった私は癌を病み、入院と手術を繰り返す歳月の中、クイーン三度のブーム到来。身体に自由を欠く今の私を鼓舞するかのよう、再びあの曲が大音量で流れている。「これは確か母ちゃんのテーマ曲だよ」と、嬉しそうに長男が言う。私は復活できるだろうか。さあ、立ち上がって足を踏み鳴らしてみよう。

蓉子